

令和6年8月31日現在

≪火災統計≫

1 火災件数と死傷者数

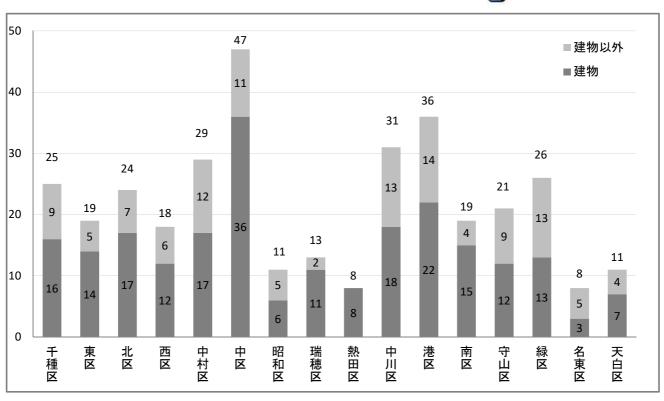
			火災	件数	焼損床面積	損害額	死傷	首(人)	
		_		総件数	建物	(㎡)	(千円)	死 者	負傷者
中川区	令和	6	年	31	18	107	24,731	1	7
1 711	令和	5	年	36	22	337	19,257	3	5
名古屋市	令和	6	年	346	227	2,678	247,181	9	71
	令和	5	年	364	229	3,859	504,382	17	77

2 8月中の火災件数と死傷者数

		件数	死傷者(人)		
	総件数	建物	死 者	負傷者	
中川区	6	4	0	2	
名古屋市	54	35	0	16	



3 行政区別火災件数



4 学区別火災件数と死傷者数

学 区	火災	建物	死 者	負傷者
合 計	31	18	1	7
広 見	0	0	0	0
露 橋	1	1	0	0
八熊	2	2	0	1
八幡	1	0	0	0
愛 知	0	0	0	0
常磐	3	2	0	0
篠原	0	0	0	0
昭和橋	2	0	0	0
玉 川	2	1	0	1
野田	4	3	1	2
荒 子	3	1	0	0
中島	1	1	0	0
西中島	1	0	0	0
正 色	0	0	0	0
五反田	2	1	0	0
戸田	2	2	0	2
春 田	0	0	0	0
豊 治	0	0	0	0
長須賀	1	1	0	0
西前田	2	0	0	0
万場	1	0	0	0
千音寺	1	1	0	0
赤星	2	2	0	1
明正	0	0	0	0

5 主な火災原因の発生件数(中川区)

総件数

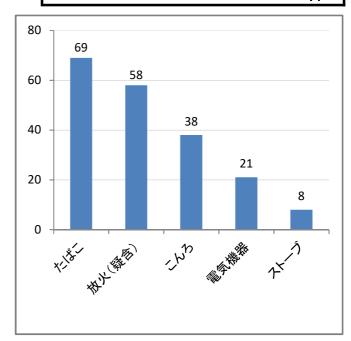
31件

中川区

				4.0	1120	<u> </u>
8	7					
		5				
4				4		
4						
					2	
						1
o +			-		-	
	18/	~ hy	A. T.	5	William .	7)
۲,	,	7/h2	M. J. CAR		<i>Y</i> .)
		•	b,			

6 主な火災原因の発生件数(名古屋市)

名古屋市	総件数	346件



7 8月中の火災概要

	火災種別	学区	火災概要
1	建物火災	戸田	木造2階建専用住宅から出火したもの。
2	建物火災	五反田	鉄骨造2階建共同住宅から出火したもの。
3	その他火災	西中島	街路樹の切り株から出火したもの。
4	その他火災	八幡	屋外に置かれたプランターから出火したもの。
5	建物火災	野田	木造2階建専用住宅から出火したもの。
6	建物火災	八熊	木造平屋建店舗から出火したもの。

≪救急統計≫

1 救急出動件数と搬送人員

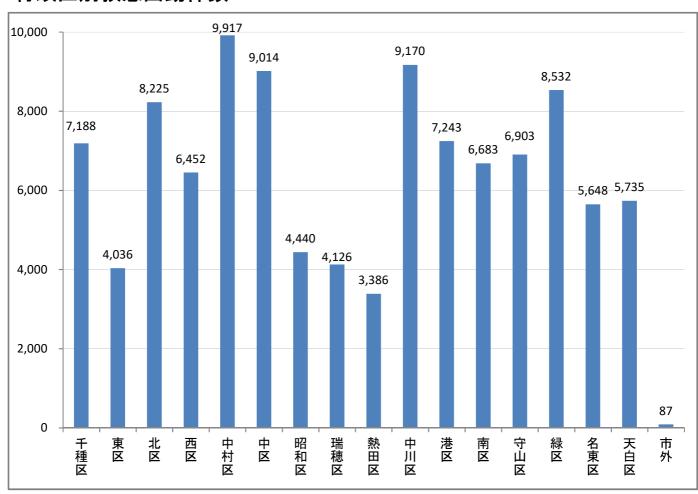
			救急出	搬送人員	事 故 種 別 (件)					
	<u> </u>	_	_	動件数	(人)	急病	一般負傷	交 通	転院搬送	その他
中川区	令和	6	年	9,170	8,279	6,585	1,229	417	599	340
中川区	令和	5	年	9,012	8,141	6,552	1,153	440	550	317
名古屋市	令和	6	年	106,785	94,799	76,333	14,864	4,580	6,623	4,385
	令和	5	年	103,259	90,580	74,273	14,306	4,486	6,190	4,004

2 8月中の救急出動件数

中川区	1,388
名古屋市	14,903

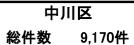


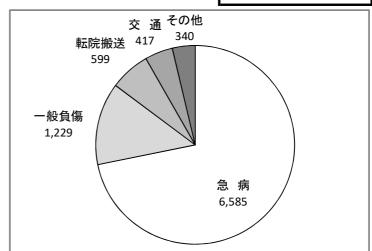
3 行政区別救急出動件数



4 学区別救急件数と搬送人員 5 事故種別救急出動件数(中川区)

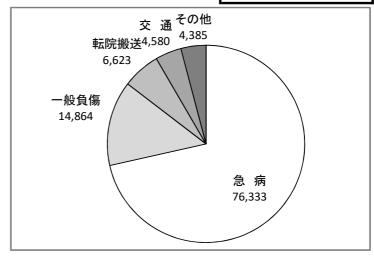
学 区	出動件数	搬送人員(人)
合 計	9,170	8,279
広 見	171	144
露橋	270	235
八熊	647	579
八幡	493	442
愛知	291	256
常磐	599	526
篠原	400	350
昭和橋	515	480
玉 川	249	234
野田	504	442
荒 子	914	825
中島	514	463
西中島	315	286
正 色	175	161
五反田	324	299
戸田	289	268
春田	366	316
豊治	490	457
長須賀	220	205
西前田	131	119
万場	205	196
千音寺	463	423
赤星	393	363
明正	232	210





6 事故種別救急出動件数(名古屋市)

名古屋市 総件数 106,785件



救急車の適正利用のお願い

【本当に救急車が必要ですか?】

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」という理由で救急車が呼ばれることがあります。このような救急出動が多くなると、本当に救急車を必要としている方に対して、救急車の到着が遅れてしまう恐れがあります。

救急車が本当に必要か考えていただき、 救急車の適正利用にご理解とご協力をお願いします。